

合格の
れっく
LEC

2019

合格

体験記

最終合格!

国家一般職
財務専門官



長崎県立大学
地域創造学部

溝口 晟飛さん

校舎内で行なわれた業務説明会が決めて

漠然と公務員になれたらいいなという気持ちで受講していたため、具体的な目標もなく勉強も捗らないこともある中、校舎内で行なわれた業務説明会で実際の現場の生の声を聞くことでイメージが持てるようになりました。それからは「合格するためには何が必要か」を積極的に考え行動するようになりました。

充実した面接対策

いくら筆記試験が良くても面接で自分自身をアピールできないと合格への道のりは難しいと思います。LEC では面接カードの添削や模擬面接など面接対策が充実しており、私自身も直前まで面接カードの添削をしてもらい、模擬面接も時間の許す限り繰り返し行なってもらいました。本番では自信を持って臨むことができました。LEC は面接の不安を抱えずに筆記試験に向けて全力で力を注げると思います。

大きかった仲間の存在

「絶対に負けたくない!」他の学生の模試成績を見て、そのためにどうすべきかを考え、定期的にある面談に積極的に参加し早い段階で自分に合った学習方法を確立できました。直前期は友人と1日12時間を越える学習を乗り越えました。お互いに刺激し合える仲間がいたから合格も勝ち取れたのだと思います。

〇〇になりたい!という気持ちを持って

最後まで諦めないで

〇〇になりたい!という気持ちを強く持って、自分を信じて最後まで頑張ってください。私はLEC で開催された業務説明会に参加し、その中で国家公務員として地域に貢献したいと強く思うようになりました。なりたい目標をきめることで合格には何が必要なのかを考えるようになり、受身の勉強から自ら進んで取り組む勉強に変わりました。